

気象情報システムの構築

2 S - 7

-wwwを用いた初心者向け気象学習支援-

伊藤 小琴 冠谷 大 川村 陽子 前川 仁孝 伊與田 光宏

千葉工業大学

1. はじめに

最近、気象情報に対する重要性が増加してきている。気象業務法改正、気象予報士制度発足により、気象予報士試験を受験したり気象に興味を持ち学習したいと思う人も増えてきた。しかし難しい専門書が大半で、初心者にとってあまりよい環境ではない。また学習教材としては、最近気象予報士試験の為に通信教育講座や学習ビデオ、気象データ集等がCD-ROM等で配布されている程度で、初心者にとってはコストの面からも手が出し難いのが現状である。また学習教材の大半を占める書籍は、時間的変化をする気象の学習にはあまり向いていないと考えられる。近年のコンピュータの普及、インターネット利用の爆発的増加により、インターネット上で気象情報を提供するサイトも多く見られるようになったが、それらはインターネット上に散在し探し出すのが困難であったり、詳しい解説が無く初心者向けでないものが多い。

本研究では、初心者でも気軽に気象について学習できる環境を提供するシステムの構築を行う。

2. システム提案

本研究では、以下の機能を作成する。また利用者の対象は初心者向けである。前回作成した気象情報システムをベースに、お天気講座、気象予報士試験教材部分を強化、データベースを付加する。

- お天気講座
 - ・ 動画等の利用
 - ・ 用語集とのリンク
- 気象予報士試験
 - ・ 試験情報
 - ・ 試験対策講座
 - ・ 模擬試験
- データベース
 - ・ 過去の気象データ（天気図、ひまわり画像等）
 - ・ 気象用語と解説

3. システム構成

システムはお天気講座モジュール、気象情報表示モジュール、気象予報士試験に関するモジュール、気象用語や過去の気象データを格納したデータベースのモジュールで構成されている。

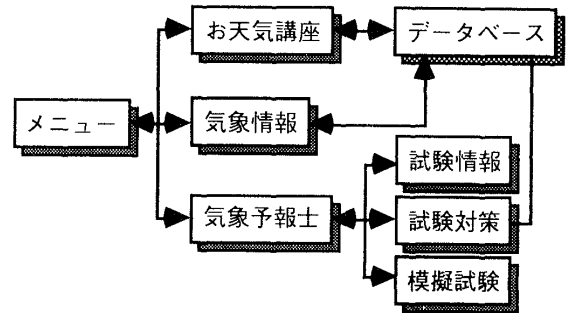


図1 システム構成

本システムの構成を図1に示す。

それぞれのモジュールが気象データベースにリンクしており、気象用語や気象データを検索可能となっている。

3. 実行例

図2に実行画面例を示す。気象予報士試験の模擬試験の実行例である。ここでは問題の答えを選択し「こたえ」ボタンを押すことにより正解すれば問題解説画面へ、不正解であれば問題画面へ戻るようになっている。

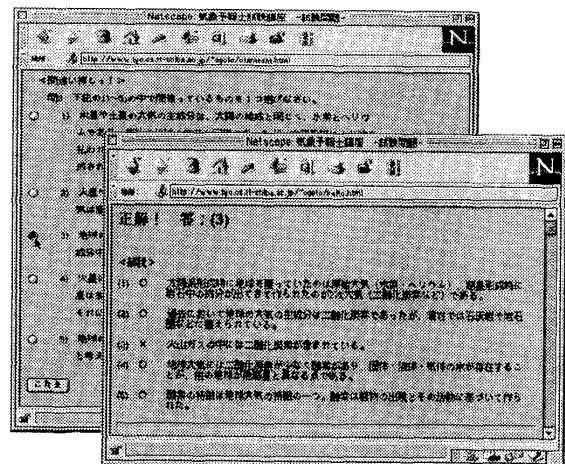


図2 画面例

4. おわりに

本研究では、気象に興味を持っている初心者を対象に学習可能なシステムの構築を行った。インターネットを利用することにより、プラットフォームに依存しないシステムの構築を実現した。

Weather Information System

Ogoto ITO, Dai KAMURIYA
Yoko KAWAMURA, Yosataka MAEKAWA
Mitsuhiro IYODA

Chiba Institute of Technology